

令和6年度第5回聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

## 【第2期】

### 基本目標1:しごとづくり ～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

町の基幹産業である農業の振興や地域の産業づくり、地域資源や観光資源を活かした交流人口の拡大、工業地帯における立地企業の設備投資による規模拡大と未操業地への企業進出を促進し、地域産業の活性化と雇用の創出を図ります。

数値目標	目標値(2024)	実績
固定資産税収	【2023決算】 31億9千万円	【2023決算】 32億2千万円

施策
①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
②地域資源を活かした広域連携による観光振興
③新潟東港を核とした経済振興

## 【第3期(案)】

### 基本目標1:しごとづくり ～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

町の基幹産業である農業をはじめとした地域産業の振興、地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化、新潟東港工業地帯における立地企業の設備投資や未操業地への進出促進、地域の支援機関と連携した創業促進等に取り組むことにより、地域経済の活性化を促し、雇用の創出を図ります。

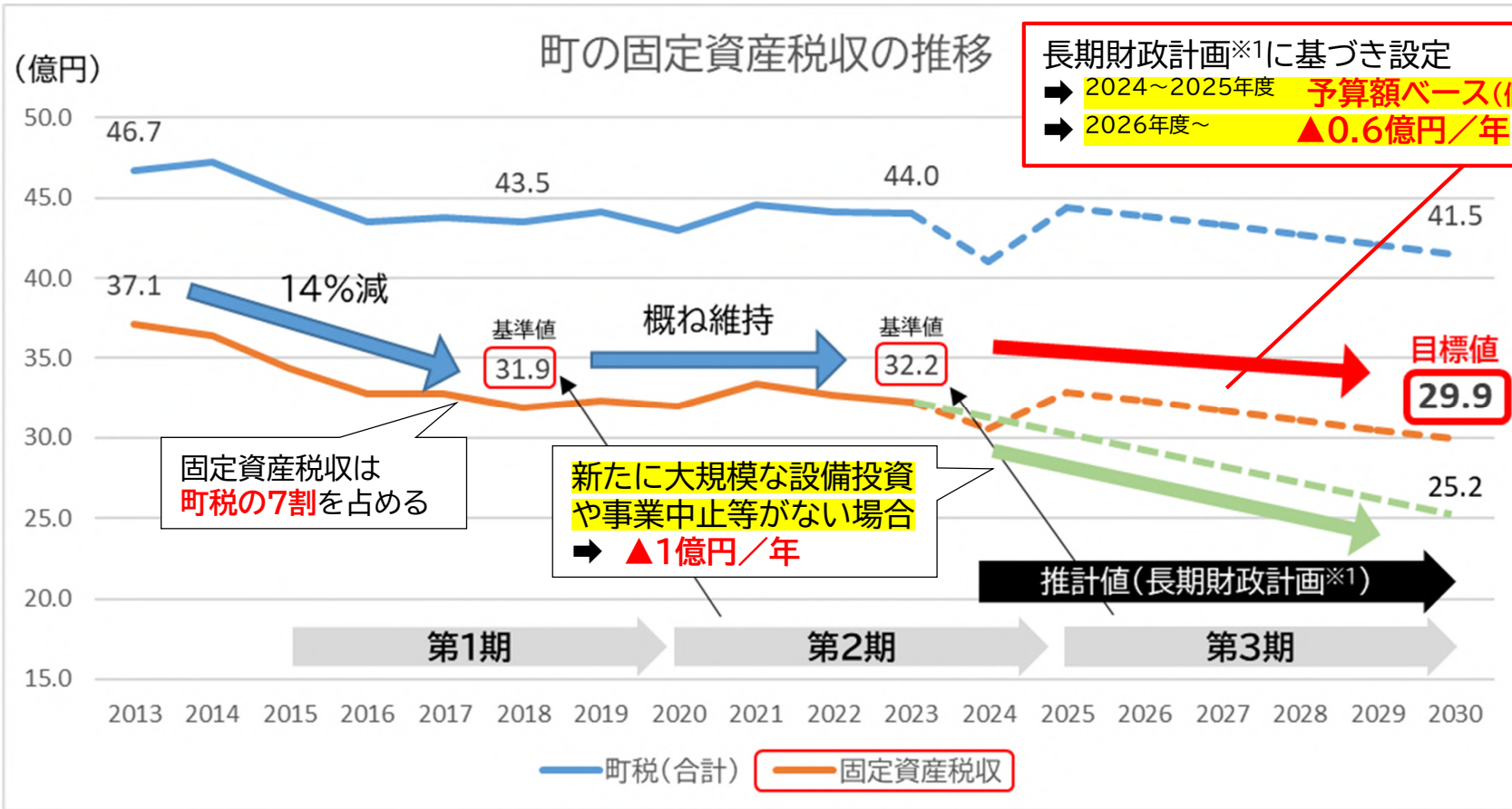
数値目標	基準値	目標値(2030)
【継続】 固定資産税収	【2023決算】 32億2千万円	【2030決算】 29億9千万円

施策
①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
②地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化
③新潟東港を核とした経済振興
④事業創造の促進

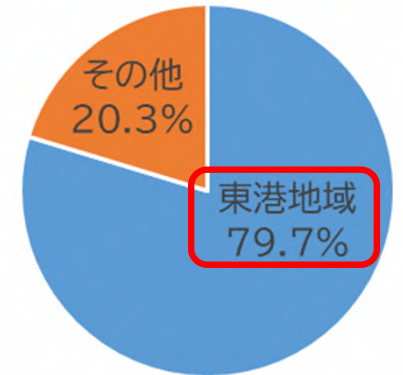
### 検討状況

- 数値目標は継続とする。  
→東港振興などによる地域経済の活性化(その成果としての「固定資産税収」)が、地域産業の維持・発展において極めて重要な役割を担うものである。  
→農業・観光振興、創業促進については個別事業のKPIにより評価する。
- アンケート結果などを踏まえて、「施策④事業創造の促進」を新たに展開

# 【参考】数値目標「固定資産税収」について



固定資産税収のうち東港地域の占める割合(2023年度)



※1 聖籠町長期財政計画について

計画期間 : 2021~2030年度

概要 : 将来の財政見通しを可能な限り明らかにし、限られた財源の重点的かつ効果的な運用を図り、長期的な展望に立って、将来に責任が持てる持続可能な聖籠町の実現に向けて、健全な財政運営の指針とするもの。社会情勢の変化を踏まえて、令和6年度に見直しを行った。

出典: 聖籠町税概要

## 検討状況

### 【数値目標の候補】

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ① 町内総生産(第1期の数値目標)      | ▶ 即時性に欠ける(結果の把握に2年要する) |
| ② 町内事業所の従業者数(第1期の数値目標) | ▶ 数値の安定性に欠ける(調査回収率が影響) |
| ③ 農業生産額、農業所得(第2期策定時検討) | ▶ 即時性、安定性ともに課題あり       |

即時性、安定性の観点から「固定資産税収」を採用(第2期から継続)